
 Catch the eye 2015年12月

 2015/12/1 2015年最終月
(火)

とうとう12月。例年より気温が高めなので、いま一つ、その感なし。でも刻々と時間はすぎる。自分用に作ってある各種のメモカレンダー、今朝一番に、11月用には結びのメモを、12月用には1日のところに事務所に着いた時間をメモ。このフォームのファイルも、今ではかなりの枚数。

そうこうして師走の始まり。こういう時こそ自分の時間を持ちたい。今年はまだ京都の紅葉をみていない。見頃は終わっているが、北山の植物園のフウの木はむしろ今。行きたいなあと思っていたら、その機会到来。仕事の打合せ。たつての願いでこちらから出かけることにしたのだった。

『京都へ出かけるなら、なんでもウェルカム』。いつも仕事で会った京都の方にはそう話している。ずっと京都は自分自身にとって哲樂の場所。見て、感じて、考える空間として、本当によいロケーション。これまでどれほど行ったろう。

昨日の夕刊コラムに中之島の東洋陶磁美術館のことが書いてあった。個人的にも思う、大阪にこの美術館があつてよかった。「それ、なんぼのもん？」と目にみえる利益を追いがちで時々贗品を買う大阪。この美術館が少し名誉を挽回してくれる。

京都と大阪。近くて遠い都市文化。

 2015/12/2 大阪城公園
(水)

クレオ東館で10時からセミナー。その前の散歩。


 2015/12/7 「大雪」
(月)

今日は大雪。大阪は冬晴れ。それほど寒くない。今週気温はまた平年より高めらしい。暖冬は決定的？

朝、本町へ行く用があつた。その前にうつぼ公園へ寄つた。いつもの通り道、公園のすぐ手前、そこに出ていた立て看板が目にとまった。

なぜかそうだったかといえば、日本酒の写真が載っていたからだ。オフィスビル前に妙。近づいてよく見る。

3種類の日本酒の写真と、キャッチコピー、そして、当ビル3階で他のにもたくさん富山の地酒を販売していると書いてある。

頭上を見る。ビルに沿った大きな看板に、『富山会館』。そうか、このビルは富山会館だったのか。よく通っているのに、今日気がついた。

まずは公園を一回りして朝の木々の気もらった。公園を出て、『富山会館』へ入った。たぶん観光情報もあるに違いない。

エレベーターを3階で下り、入る。けっこう広いスペースだった。入り口すぐのところは観光情報の案内スペースと事務所になっていた。

奥のフロアは中央に交流スペース、右には名産品や工芸品の展示、左は事務所になっていた。

富山は堀田善衛の郷里。何年か前に文学館ができていて、堀田善衛に関する展示が常設されている。

この文学館のパンフレットもちゃんとあった。事務所にいた女性がマップを見ながら、親切に場所を教えてくれた。素朴な感じの人だった。

週の初めの朝一番、気持ち温まる始まり、「大雪」の今日。

2015/12/7
(月)

うつぼ公園

本町に用事があった。その前に朝の散歩



2015/12/8
(火)

京都

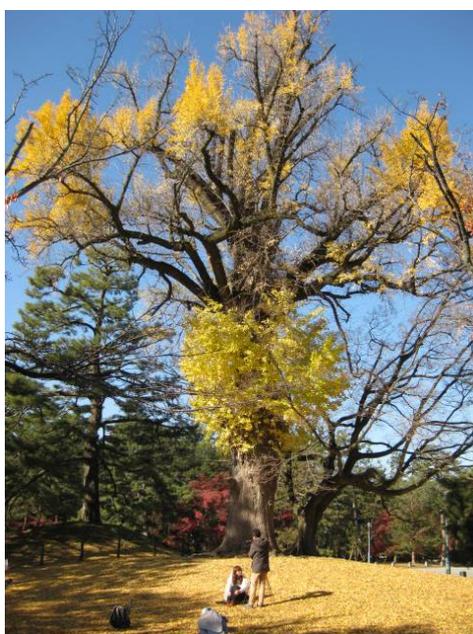
“フウを見にいかなければ・・・”と思っていた当日に、その機会が向こうからやってきた。当所を訪ねるというのを押して、こちらから京都へ出かけ、打合せの前と後に京都散歩。天候は、絶好の冬晴れ！

京都御苑

京都市内で紅葉を愉しむなら御苑。まだこんなに紅葉。



大イチョウは黄の盛葉





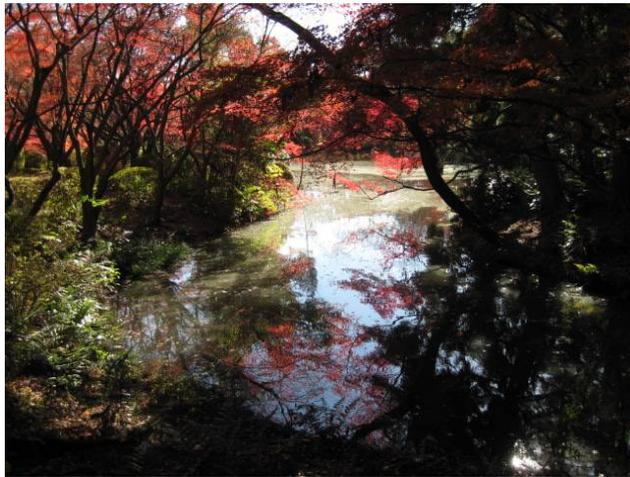
打合せが終わってから北山へ。なんといい日に来たことか、フウの木が本当に見頃だった。















2015年の紅葉、思う存分に堪能、今年もこういう時間をもてて感じる仕合せ。

2015/12/9
(水)

京都散歩

月曜から晴天続き。今日も日中暖かく、12月の感なし。なごり紅葉がそこかしこ。まだ青いイチヨウさえある。

2015年の京都の紅葉。うまい具合に京都へ行く用事でき、そのついでに京都御苑と北山の植物園へ行った昨日。

広々とした御苑。自然の森林の植物園。人が多かったとしても、その多さを感じないほど、人の気配を包み込む空間。

紅葉も生き生きとして、地に落ちた枯葉も生命力に満ちている。新しい春が土の下で待ち構えている。

御苑を30分ほど、植物園を1時間半ほどそぞろ歩いた。五感が清められ、頭がわれにかえる。こういう時間が一番の栄養剤。

2015/12/14
(月)

師走も佳境

こんなに暖かい日が続いていいのかしら。そう思ってしまう12月中旬。今週末からはぐっと冷え込むらしいから、体調を崩さないよ気をつけたい。今年も残りわずか。22日は冬至。いよいよ陽地ひらく。

立冬からひと月と一週間。いやいや、もっと前のような気がする。立春までひと月と二週間ほど。いやはや、あつという間。この年末年始、世の中が休みモードの間に、済ませるものは済ませておこう。

なんとなく来年の様子が見えてきた。12月半ばのここまでに、ぼつぼつと揃い始めた材料をつなげてみれば、頭の中の遠い向こうに控えている光景、場面

はっきりは見えないが、そこへ近づくのも、もう間もなく。



2015/12/24 梅の木でほっこり
(木)

暖かいクリスマスイブ。歩くうちに首回りが暑くなり、スカーフを解く。人が賑わう時ほど、静かに過ごしたくなる。冬枯れの梅林を歩く。この暖かさとで蠟梅はすでに咲いている。観光客は素通りする大阪城公園梅林。おかげでほとんど独り占め。

梅林内にぼつぼつと配置された蠟梅。よく咲いているものもあれば、そうえないものもある。最後の一画を見て帰ろうとしたその手前におもしろい光景。葉をきれいに落とした梅の木に上り、枝と幹の間にうまい具合に鎮座まします白い猫。ちょっと眠そうな目をこちらに向けてじっと見る。

カメラがないのが残念。スマホで撮ったものの、表情がよく見えない。スマホを向けるても逃げないのは、いいポジションを離れたくなかったからか。昨日の雨は上がり、薄日が差してきてほっこりとしたひと時、人間にジャマされたくない風であった。

暖かいクリスマスイブの朝、静かに、ほっこり、お互いさま、人と猫。



2015/12/25 大阪城公園
(金)

今日も朝散歩。遅まきながら徐々に<わかる>自分自身。ずいぶん前から『生きていること自体が趣味のようなもの』と口にしてしている。だから、こうして歩き、自分と対話することが、なくてはならないものになっているのだと自覚。



蠟梅咲く





2015/12/26
(土)

月天心

25日の満月は「月天心」にあたるのか。月の出を撮ったがぶれていた。明け方、月の光で目が覚めた。月の入りまでの月天心。



2015/12/28
(月)

受けて起つ

巷は年越しムード。紙袋に丸めたカレンダーをたくさん立てて街を行き交う会社員たち。今週金曜は2016年元旦。

月天心。日経のコラムで11月25日と教えてもらった。日中雨が降った。おかげで絶好の月天心。夜明け前、月の光で目が覚めた。

まもなくまた一つ年をとる。103歳の人からすると、『まだまだこれから先に・・・』と思うけど、年を重ねることは本当に、いとをかし。

自分で自分をわかっているようでわかっていない、でもわかっているというような根っこを、目に見るように＜わかる＞時が来る。

なんでそんなことが今なんだと自分でも呆れるほど。ぱっと言葉で頭に浮んだそのことを、深くて絶つことのないものとして追認する。

これといって趣味はなく、人から尋ねられて時、『生きていること自体が趣味のようなものですから』と冗談まじりに返してきた。

でも本当にそうになっている、そうしている。妙に安定すると、これでいいのかと疑問わくこの性分。不安定もまた受けて起つ。よいお年を。